

第132回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年3月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,116	-1.78	-0.10	4,065	-0.65	0.12
東部地区	14,268	-0.01	-0.78	5,482	1.31	-0.45
西部地区	10,754	0.73	-0.31	3,883	3.71	0.12
駅南地区	6,334	0.63	-0.68	2,554	1.34	-0.85
半田地区	3,507	2.03	-0.14	1,270	4.69	0.63
横山地区	5,662	1.25	-0.56	1,827	2.87	-0.43
茨目・田尻地区	6,943	1.13	-0.61	2,319	1.93	-0.42
荒浜地区	5,276	0.30	-0.09	2,015	2.49	0.34
その他地区	21,894	-1.64	-0.38	7,237	-0.59	-0.08
西山町地区	6,615	-1.88	-0.21	2,159	-1.00	-0.23
高柳町地区	2,127	-3.09	-0.56	862	-2.37	0.00
柏崎市計	93,496	-0.42	-0.42	33,673	0.99	-0.15
刈羽村	4,997	-0.02	-0.25	1,512	1.95	0.19
小国地区（長岡市）	6,670	-2.24	-0.11	2,149	-0.55	0.13
出雲崎町	5,404	-1.85	-0.22	1,829	-0.05	0.43
合計	110,567	-0.58	-0.38	39,163	0.89	-0.09

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で652人、0.58%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が396人、0.42%、刈羽村が1人、0.02%、小国地区（長岡市）が153人、2.24%、出雲崎町が102人、1.85%とそれぞれ減少している。

また、前月比においては、学卒者等の流出により柏崎市が397人、0.42%、刈羽村が13人、0.25%、小国地区が8人、0.11%、出雲崎町が12人、0.22%と減少したことから、全体では430人、0.38%の大幅な減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が332世帯、0.99%、刈羽村が29世帯、1.95%の増加となり、小国地区が12世帯、0.55%、出雲崎町が1世帯、0.05%と減少したが、全体では348世帯、0.89%の増加となった。

また、前月比においては刈羽村が3世帯、0.19%、小国地区が3世帯、0.13%、出雲崎町が8世帯、0.43%と増加したが、柏崎市が51世帯、0.15%と減少したことから、全体では37世帯、0.09%の減少となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,304		-8.68		-1.21	
月間有効求職者	1,283		-8.81		6.20	
月間有効求人倍率	1.02	0.97	0.01*	0.00*	-0.07*	-0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が、前年同月比で124人、8.68%の減少、前月比でも16人、1.21%の減少となった。

一方、月間有効求職者数は、前年同月比で124人、8.81%の減少となったが、前月比では75人、6.20%の増加となっている。

月間有効求人倍率は、前年同月比で0.01ポイント上回り、前月比では0.07ポイント下回っているものの1.02倍と5ヶ月連続で1倍を超えており、県平均0.97倍に対しても0.05ポイント上回っている。

なお、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が518人と前年同月比で17人、3.18%の減少となり、月間新規求職者数も389人と前年同月比で65人、14.32%の減少となった結果、月間新規求人倍率は1.33倍と前年同月1.18倍を0.15ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年3月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	46	-7	5	406	52
共 同 住 宅	3	3	3	16	-4
事 務 所	2	2	1	9	-5
作 業 所 ・ 工 場	0	-3	-2	25	1
営 業 建 物	1	-4	1	24	-7
公 共 建 物	0	-1	0	8	-2
そ の 他	9	6	4	116	19
合 計	61	-4	12	604	54

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月申請合計が前年同月比で4件の減少となったものの、前月比では12件の増加となり、工種全体では61件の申請となった。工種別内訳の主な増減をみると、前年同月比では一般住宅（併用）で7件、営業建物で4件の減少、その他で6件の増加となり、前月比では一般住宅（併用）で5件、その他で4件の増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が34件、増築が20件、改築が7件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が30件（うち新築14件、増築13件、改築3件）、市外施工業者が14件（うち新築10件、増築1件、改築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,648	0.34	0.09	21,627	-1.46	2.43
電 力	12,469	-2.57	-0.62	48,625	-1.27	2.50

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器械等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で220口、0.34%の増加、前月比でも59口、0.09%の増加となった。一方、電力では前年同月比で329口、2.57%の減少、前月比でも79口、0.62%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で322kwh、1.46%の減少となったものの、前月比では514kwh、2.43%と増加している。一方、電力でも前年同月比で629kwh、1.27%と減少したが、前月比では1,188kwh、2.50%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,780,787	-6.6	-11.9	644,810	-5.5	-9.2
営 業 用	290,565	-4.1	-7.9	114,988	-7.4	-3.0
工 場 用	541,775	30.9	2.5	139,287	-13.3	-6.7
官 公 学 校 用	654,135	-6.4	-0.3	85,742	-3.4	8.5
そ の 他				250	228.9	101.6
合 計	3,267,262	-1.7	-7.2	985,077	-6.7	-6.8

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、用途全体では暖冬の影響から前年同月比で1.7%の減少、前月比でも7.2%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比共に工場用を除く全ての用途で減少している。

一方、水道給水量は、用途全体では前年同月比で6.7%の減少、前月比でも6.8%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではその他を除く全ての用途で減少しており、前月比では官公学校用、その他を除く全ての用途で減少となった。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	73,942	-0.41	21.14	76,954	-1.03	19.24
西 山	38,237	-3.90	18.52	34,360	-1.65	21.09
米 山	19,406	5.80	20.06	17,813	7.25	20.41
合 計	131,585	-0.60	20.21	129,127	-0.13	19.88

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で796台、0.6%と減少したものの、前月比では22,127台、20.21%と大幅に増加している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で178台、0.13%の減少、前月比では21,422台、19.88%の大幅な増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では柏崎及び西山インターにおいて入口・出口共に減少しているが、前月比では全てのインターにおいて入口・出口共に大幅な増加となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	334,846	2.38	1.95	140,808	0.62	0.31
平 残	325,602	0.21	0.16	138,241	-0.43	0.23

預金は、末残が前年同月比で7,800百万円、2.38%の増加、前月比でも6,421百万円、1.95%の増加となった。また、平残においても前年同月比で688百万円、0.21%の増加、前月比でも524百万円、0.16%の増加となっている。

一方、貸出金は末残が前年同月比で871百万円、0.62%の増加、前月比でも442百万円、0.31%の増加となり、平残においては前年同月比で608百万円、0.43%の減少となったが、前月比では321百万円、0.23%と増加している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,131	-18.63	-7.71
交 換 金 額	3,868	-24.49	-17.38
不 渡 り 手 形 枚 数	2	-88.88	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	6	-46.40	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、3月末日の休日要因から交換枚数が前年同月比で1,175枚、18.63%の大幅な減少、前月比でも429枚、7.71%の減少となっている。また、交換金額も同様に前年同月比で1,255百万円、24.49%の減少、前月比でも814百万円、17.38%の減少となった。なお、不渡り手形は2枚、6百万円発生しており、前年同月比で16枚、5百万円の減少、前月比では2枚、6百万円の増加となっている。

平成19年3月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は7件（前年同月7件、前月4件）、負債総額196億円（同42億円、同34億円）、1件当たりの負債額28億円（同6億円、同8億円）となっている。なお、柏崎地域では1件、負債総額180億円が発生している。県内地区別では下越地区5件（新潟市2件、胎内市1件、五泉市2件）、中越地区1件（柏崎市1件、三条市1件）、上越地区では発生していない。業種別は製造業1件、販売業3件、サービス業・その他3件で、倒産原因別の状況は販売不振5件、不良債権の累積1件、その他1件となっている。

当月は柏崎市で大型倒産（負債10億円以上）が1件発生している。榊石地観光開発が3月7日に新潟地裁長岡支部に民事再生法の適用を申請し、同日保全命令を受けており、負債額は約180億円の見込となっている。

また、県内企業倒産は前年同月比では件数で増減なし、負債総額で大型倒産が1件発生したため153億円の大規模な増加となり、前月比では件数で3件の増加、負債総額で161億円の増加となった。